

令和4年6月20日  
文教・福祉常任委員会資料  
健康長寿部長寿生きがい課

令和3年度宇治市小倉デイホームの指定管理者事業報告について

宇治市指定管理者の指定の手續等に関する条例施行規則第11条に基づき、別紙のとおり報告いたします。

# 令和3年度 事業報告書

令和4年5月1日

施設名	宇治市小倉デイホーム
団体名	社会福祉法人 宇治明星園
代表者名	理事長 中島 研

## (1) 業務実施状況報告(令和3年度)

<b>【管理運営の方針】</b>
<p>「地域に開かれた、地域に根ざした、地域住民に支えられた施設づくり」(宇治明星園設立理念)を宇治市小倉デイホームの運営方針とします。</p> <p>—結果—</p> <p>令和3年度の1年間でデイルーム 2,046人(前年対比:約29.5%減)、家族介護者教室 1,468人(前年対比:約20.9%増)、ボランティアルーム 941人(前年対比:約161.4%増)、の利用(延べ人数)があった。また、新型コロナウイルス感染症の影響による利用休止はあったものの、地域住民による写経サークル、地域貢献事業(委託事業含む)の介護予防教室(小倉うたごえサロン、小倉げんき塾、みんなの認知症予防教室)、クラブ活動(陶芸、書道、健康麻雀クラブ、絵手紙教室)を継続して行い、地域住民の健康増進の向上に繋げた。</p>
<b>【施設の平等利用の考え方と実施した対策】</b>
<p>宇治市在住の60歳以上の方であればなたでも平等に利用していただき、地域に開かれた施設として運営します。また、それ以外の介護者教室、ボランティアルームなども年齢に関わらず、地域のサークル活動やサロン、民生児童委員会、学区福祉委員会、宇治市立小倉小学校や小倉双葉園保育所などにも幅広く開放します。その他、障害者福祉施設の利用者の就労の場(地域交流の場)としても活用します。</p> <p>—実施した対策—</p> <p>高齢者福祉施設として、宇治市広報の掲示や地域のお知らせを配布するなど情報発信を行い、また地域のイベントや施設主催の行事(介護予防教室・クラブ活動や、小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会の開催、デイホーム委員会主催)なども地域や関係団体に幅広く広報して利用しやすい環境づくりに努めた。</p>

【施設管理状況】 1. 利用拡大の取組

【令和3年度の取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室の利用延べ人数は、「小倉げんき塾」：元年度 1,261 人⇒2 年度 245 人⇒3 年度 323 人、「みんなの認知症予防ゲーム」：元年度 169 人⇒2 年度 145 人⇒3 年度 142 人、「小倉うたごえサロン」：元年度 485 人⇒2 年度 57 人⇒3 年度 201 人となった。クラブ活動（陶芸、書道、絵手紙クラブ）を開催し、延べ 154 人（2 年度 163 人）が参加した。また、地域の「写経クラブ」、「高齢者サロン」「認知症の方と家族のつどいの場」「健康麻雀」も継続した利用に繋がっている。その他、デイホーム委員会の行事（春の健康チェック企画「体力測定」）は今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

【令和2年度の取組結果】

利用拡大の取組として、地域住民の健康増進として地域貢献事業（委託事業を含む介護予防教室）を開催。介護予防教室としては全体的に利用延べ人数（小倉げんき塾：30 年度 1,485 人⇒元年度 1,261 人⇒2 年度 245 人、みんなの認知症予防ゲーム：30 年度 190 人⇒元年度 169 人⇒2 年度 145 人、小倉うたごえサロン：30 年度 560 人⇒元年度 485 人⇒2 年度 57 人）となった。クラブ活動（陶芸、書道、絵手紙クラブ）を開催し、延べ 163 人（元年度 857 人）が参加した。また、地域の「写経クラブ」、「高齢者サロン」「認知症の方と家族のつどいの場」「健康麻雀」も継続した利用に繋がっている。その他、デイホーム委員会の行事（春の健康チェック企画「体力測定」）は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

【施設管理状況】 2. 広報実施

－広報結果－

各自治体、教育機関、福祉施設からの見学を随時受付、日本初の小学校の高齢者福祉施設の転用例を発信した。また、社会福祉法人宇治明星園の広報活動ともリンクし、宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターと連携しながら、地域の福祉拠点並びに福祉相談窓口としての情報発信も行った。その他、小倉小学校、小倉双葉園保育所だけでなく施設の機関紙やパンフレット（イベントや行事企画等）を地域や関係団体に配布して広報を行った。

【施設管理状況】 3. 職員配置

センター長 1 名（宇治市小倉デイサービスセンター長兼任）

受付及び管理職員 14 名（宇治市小倉デイサービスセンター職員兼任、宇治市小倉介護サービスセンター一介護支援専門員兼任、北宇治地域包括支援センター職員兼任）

浴室清掃・営繕 3 名（宇治市小倉デイサービスセンター運転手兼任）

その他、すべての小倉明星園スタッフでデイホーム利用者への対応を行っている。

<p><b>【施設管理状況】 4. 地域、関係機関、団体、登録団体等との連携結果</b></p> <p>ー連携結果ー</p> <p>健康麻雀クラブ（月・水午後、第2・4火午後）、伊勢田元気会（第1、水午前）、写経クラブ（金午前）、スリッパの会（第1、3、4土）、介護予防教室（小倉うたごえサロン（第1木曜日）、小倉げんき塾（第2木曜日）、みんなの認知症予防教室（第4木曜日））、クラブ活動（陶芸クラブ（第1火曜日）、書道クラブ（第2火曜日）、絵手紙クラブ（第4火曜日））などに施設を開放。その他、地域のボランティア団体や小倉明星園とともに地域の福祉をよくする会にも地域交流の場として施設を開放した。（いずれも新型コロナウイルス感染予防対策として中止期間や自粛期間あり。）</p>
<p><b>【施設管理状況】 5. トラブル対応、防犯、防災対策</b></p> <p>ー対策状況ー</p> <p>トラブル対応として、デイホーム委員会が中心となりデイホーム利用者による館内の利用時間の遵守及びマナーについて検討を図り、館内ルールを遵守していただくよう声掛け（説明）や館内掲示を行った。防犯については、業者委託による機械警備（夜間）と職員による館内防犯点検（目視による巡視）を行った。また、小倉小学校の敷地内であることから日中はスクールサポーター（配置時）が常時見守りを実施している。防災対策については、年3回館内利用者・職員を含めた避難訓練を実施して防災意識を高めている。</p>
<p><b>【施設管理状況】 6. 利用者要望の把握状況及び実施策</b></p> <p>ー把握状況及び実施策ー</p> <p>日常的に宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターの職員が利用者の要望等の対応にあたりるとともに、デイホーム委員会が中心に実態の把握を行った。また、これまでと同様に個別の相談（介護に関する悩み、利用者同士のトラブル）にも適切に対応した。その他、毎年年度末にアンケートを実施して、要望の把握に努めている。</p>
<p><b>【サービス向上取組内容】</b></p> <p><b>【令和3年度の取組結果】</b></p> <p>皆さんに参加してもらいやすいイベントとして、一昨年度行った春の健康チェックは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度も中止したが、昨年度から年末の全館大掃除の際にデイホームの利用者にも呼びかけを行い、職員と一緒に掃除を行っている。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した期間あり）のべ666名の参加があった。また地域住民のニーズに応えるため、クラブ活動（陶芸・書道・健康麻雀・絵手紙）を開催した。</p> <p><b>【令和2年度の取組結果】</b></p> <p>皆さんに参加してもらいやすいイベントとして、昨年度行った春の健康チェックは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止したが、年末には全館大掃除にデイホームの利用者にも呼びかけを行い、職員と一緒に掃除を行った。情報サービスとしては、宇治市の広報、施設の行事等のお知らせを館内の見やすい場所に掲示した。地域の健康増進を図る取組（介護予防教室）も継続して行い、（新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、開催を中止した期間あり）のべ447名の参加があった。また、クラブ活動（陶芸・書道・健康麻雀・絵手紙）開催し地域住民のニーズに応えるべく取組んだ。</p>

**【管理経費縮減の具体策と結果】****【令和3年度の取組結果】**

エアコンを使用する際は、エコな温度設定で過ごしていただくよう、お知らせの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時間帯は廊下の電気を消灯して省エネに努めた）。

令和元年度から令和3年度の経費（光熱水費）実績

（単位：千円、％）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	前年度比
電気	295	264	271	102.7
ガス	895	665	738	111.0
水道	1,050	832	787	94.6
合計	2,240	1,761	1,796	102.0

**【令和2年度の取組結果】**

エアコンを使用する際は、温度設定を高く（低く）することなくエコな温度設定で過ごしていただくようお知らせの掲示や声掛けを行った。また、館内の利用していない部屋については電気の消灯を徹底した（夏場の明るい時期は廊下の電気を消灯して省エネに努めた）。

**【管理能力】職員研修計画と実施状況**

## －職員研修計画－

併設の宇治市小倉デイサービスセンター及び宇治市小倉介護サービスセンター、北宇治地域包括支援センターにおける介護・福祉関係及び施設管理に関する研修に参加する。

## －実施状況－

人権啓発研修や感染症対策研修など外部研修に参加して職員の管理能力を高めた。その他、年3回行っている避難訓練については、今年度は年9月の訓練が緊急事態宣言中のため中止となり、年2回実施した。（うち1回は小学校との合同訓練）

**【個人情報保護措置と実施状況】**

## －保護措置－

個人情報保護の観点から、利用ごとに利用許可証の提示は求めず、利用人数の把握のみ努める。初回の利用許可証発行時のみ基本情報を記入してもらい適切に管理を行う。

## －実施状況－

個人情報保護の観点から、利用ごとに利用証の提示は求めず、利用人数の把握のみに努め、初回の利用証発行時のみ氏名、住所、年齢等の基本情報を「宇治市デイホーム利用証交付申請書」に記入してもらい、施錠可能なデスクに保管、管理した。また、当法人の定める「指定管理者個人情報管理規程」に基づき適切な措置を講じた。

【情報公開対応と実施状況】

—対応—

当法人の定める「指定管理者個人情報管理規程」に基づき適切な措置を講じる。

—実施状況—

令和3年度においての情報公開実施事例はなかった。

【その他】特記すべき事項

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための施設休館
  - ①令和3年4月25日から6月20日まで
  - ②令和3年8月20日から9月30日まで
- ・入浴サービスは、併設のデイサービスセンターの施設利用者の感染拡大防止を第一に勘案し、年間を通じて休止
- ・新型コロナウイルス感染症の基本的な感染対策として、遮蔽板や手指用アルコールを設置するとともに、利用後の備品のアルコール消毒を徹底するとともに、貸館等の利用者数を定員の1/2として対応
- ・感染者が出た場合は、同じ時間帯に利用された方と連絡が取れるよう、利用者の把握を徹底

## (2) 施設利用状況報告(令和3年度)

### 【施設利用状況】 1. 入館者数

令和2年度から令和3年度の入館者数

(単位：人、%)

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
デイルーム	2,903	2,046	70.5
浴室	0	0	—
介護者教室	1,214	1,468	120.9
ボランティア ルーム	360	941	261.4
合計	4,477	4,455	99.5

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、浴室休止

### 【施設利用状況】 2. 貸館状況

令和2年度から令和3年度の貸館状況

(単位：件、人、%)

区分	件数 人数	令和2年度	令和3年度	前年度比
介護者教室	件数	109	161	147.7
	人数	1,214	1,468	120.9
ボランティア ルーム	件数	77	172	223.4
	人数	360	941	261.4
合計	件数	186	333	179.0
	人数	1,574	2,409	153.0

(3) 管理経費収支状況報告(令和3年度)

(単位:千円)

施設名		宇治市小倉デイホーム			
		予定金額	実績	内容	備考
収入	市からの委託料	4,194	3,933	指定管理料	3,933
	その他	0	0		
収入合計(A)		4,194	3,933		
支出	人件費	1,382	1,382	管理人賃金・法定福利費	
	事務費	63	0	消耗品費	0
	管理費	2,749	2,551	光熱水費 委託料 修繕料	1,796 435 320
	事業費	0	0		
	その他	0	0		
支出合計(B)		4,194	3,933		
収支(A) - (B)		0	0		

※ 1年間の収支を記入すること(年度途中開館の場合は開館から年度末まで)  
内容は詳細に記入し別途資料がある場合は添付すること

### (4) - 1 事業実施状況報告(令和3年度)

※事業=公の施設において市が主催し指定管理者が実施する各種講座・講演会等

事業名	目的・内容	実施時期・回数
		

